

平成30年度 山王保育所事業計画

1. 概要

①運営方針

- 平成29年度までは利用定員70人として運営してきましたが、常時90人以上在籍していることから、30年度より利用定員90人に変更になります。
- 大阪市は平成30年度より各区役所庁内にて小規模保育所を開設しますが、西成区は待機児童がない為、開設はされませんでした。この現状の中で如何に園児を獲得していくかが課題と考えます。
- 西成区民にとどまらず他の区民を含めた子育て及び家庭支援の充実をします。
- 山王保育所のホームページを新たに開設し広く山王保育所の魅力を発信できるようにします。
- 保育所保育指針の改定に伴い、「全体的な計画」「発達過程」をもとに、カリキュラムを作成し、PDCAを繰り返し保育士の視点、アプローチの仕方を丁寧に考え実践していきます。
- 家庭の状況に応じ要保護児童地域対策会議に参加し社会資源と連携し地域と共に支援します。
- 危機管理委員会を発足し危機管理マニュアルの整備を行います。園児のみならず保育所を利用する人が安心して過ごせるよう努めます。また、防犯カメラを設置し安全な施設づくりを行います。

②定 員 90名

③事業日数 292日（日曜、祝日及び12月29日より1月3日は休園とします）

④開所時間 平日7：30～18：30 土曜日7：30～18：30

⑤保育時間

（保育標準時間） 平日・土曜日 7：30～18：30

（保育短時間） 平日・土曜日 早朝保育 7：30～ 8：00

通常保育 8：00～16：00

延長保育 16：00～18：30

⑥職員数

園長 1名、主任1名 保育士19名（うち派遣会社保育士3名・パート保育士4名）看護師 1名
調理員 4名（うちパート調理員2名）、嘱託医（内科・歯科）各1名（内科年3回、歯科年1回 健診）

2. 保育運営

①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。

- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

②保育方針

- 社会福祉法人白鳩会保育メソッド・一日の保育の流れを中心に、子どもたちが主体的に生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し人として『生きる力』を育む。
- 在園児および地域の子育て支援を行う。
- 愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。

③保育目標

乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判断、決定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

④クラスの編成及び職員配置

0歳児	さくらんぼ組	9名	保育士3名
1歳児	いちご組	18名	保育士3名
2歳児	もも組	18名	保育士3名
3歳児	くり組	18名	保育士2名（うち障害児加配保育士1名）
4歳児	みかん組	20名	保育士2名（うち障害児加配保育士1名）
5歳児	かき組	20名	保育士2名（うち障害児加配保育士1名）
合計園児数		103名	保育士15名
障害児保育担当保育士		3名	
フリー保育士		2名	

⑤保育内容

- 乳児保育はゆるやかな担当制保育を行います。温かく受容的・応答的な関わりのもと自己肯定感と、大人との愛着関係を育みます。特定の保育士との丁寧な関わりにより、食事・排泄・睡眠・運動など生活リズムが整い健康な身体の基礎を作ります。
「待たせない保育」を意識して、グループごとにタイムスケジュールを組み保育士間で連携しながら、各コーナーを巡回して遊びます。発達に合った遊び、そして、遊び込める時間を十分配慮した環境を整えます。
- 幼児保育は一日の保育の流れに沿った日課のある保育を行います。保育士は「全体的な計画」にある「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10項目を意識した保育を行います。その目的を達成するための環境設定とアプローチを行い、子どもが自分で考え行動できる自発的な生活を保障し自立心を培います。
- 「種をまこう」を教材として月1回人権教育を行い、保育士も一人ひとりの人権に配慮した保育を行います。
- 給食室と連携し食育計画を立てクッキング保育や菜園活動を行います。その体験の中、食に対す

る興味や食べられることへの感謝の気持ちを育みます。また、食材の3色群分けを用いて好き嫌いなく食べることの大切さや、立腰や挨拶、食べ方などマナーを丁寧に伝え実践していきます。

- 毎朝の意味ある運動は行う目的の再確認とバリエーション豊かに立案し取り組んでいきます。
- 園内外の危険マップや警察署と連携した交通安全教室、防犯教室等を通して自分で自分の身を守る力を養います。
- 看護師を中心に健康指導を月1回行い、自分の身体に興味を持ち自発的に健康を保つ意識付けをします。
- 今年度も外部講師による、音楽指導（和太鼓）・サッカー指導・歌唱指導・英語指導・絵画指導を行います。和太鼓指導が始まり5年が経ち子ども達に力が付いてきました。保護者の方々も楽しみにして下さり山王の伝統となりつつあります。継続して子ども達のやる気を引き出せるよう保育士はサポートしながら、相手を感じる力、気持ちを一つにするコミュニケーション能力や自分の思いを表現する力を培います。

⑥家庭との連携

- 保育参加（年2回）・全体懇談会・クラス懇談会・個人懇談会・家庭訪問・（各年1回）を通して保育所生活を理解して頂くと共に、子供の姿を伝え合い、保護者と共に子どもの育ちを見守り、支援できるよう信頼関係を育みます。
- 「早寝・早起き・朝ごはん・朝UNCH」の大切さを奨励して5年経ちましたが浸透させることの難しさを感じています。浸透させるにあたっては家庭との連携なくしてできない事であり、毎朝、保護者に記入して頂いている「送迎表」から一人ひとりの睡眠時間・朝食・排便の様子を把握し、保護者と一緒に考えながら子どもの生活リズムを整えます。
- 発達に障がいのある子どもの家庭には、保護者と必要に応じて話し合いの場を持ち、家庭と連携してより良い保育ができるように努めます。また、療育施設と支援の仕方について意見の交換を行い同じ方向性で進めるように連携を図ります。
- 卒園児・退園児とその保護者への支援について、卒園・退園後も継続して行い、子どもたちを見守り、園長が相談窓口として受け付けます。

⑦人材育成

- 保育理念・方針を実現するための体系的な職員の研修計画に基づき、園内外の研修に参加します。また、研修で得た知識・技能を職員で共有を図り園全体の質の向上を目指します。
- キャリアパス研修に参加しそれぞれの役割を自覚しリーダーとして後進保育士の育成に努めます。
- 「一日の保育の流れ」の徹底を行い、主任・園長が現場に入りOJTを行いながら、どの立場でも同じ視点で同じ保育を進めていけるように指導します。また、職員の悩みや課題にも注意し、一緒に考え、互いに意見の出しやすい環境づくりをして明るく前向きに保育ができるように努めます。
- 今年度は特に子どもに対して「命令、強制」するような口調の言葉を使わない。保育の中心は子どもが主体であることを保育者が自覚して、指示語を使わず、子どもの力を信じ見守る保育が行われるよう日々PDCAを繰り返し保育の質の向上を目指します。

⑧地域の実態に対応した事業

地域子育て支援事業

西成区、阿倍野区、浪速区、天王寺区の支援室、保健師等、社会資源と連携しながら進めていきます。また、ホームページや情報誌「はぎっず」にて情報発信をします。

- 月に4回地域交流を行います。(10:00~11:00)

第2金曜日…近隣の親子が安心して遊べる憩いの場としての園庭開放を行います。

第1.3.4金曜日…保育体験日。年齢に合ったクラスに親子で参加します。

- プール開放や運動会、クリスマス会など行事に地域の親子を招待します。
- 「スマイルサポーター」の活動を通し相談事業を行います。

地域活動

- 天下茶屋保育所、天下茶屋幼稚園、若草保育園と保幼交流を行います。
- 山王老人会や、隣接している老人施設みどり苑との交流を行います。
- 就学先の小学校を訪問し各教室や授業風景を見学し就学に向け意識付けをします。
- 金塚小学校主催の「金塚祭り」に参加し小学生と交流します。
- 今宮中学生の職場体験学習の受け入れをします。
- 小学校の先生の社会体験の受け入れをします。
- 小学校と意見交換会を行います。
- 天王寺動物園に保育園で収穫したじゃがいものプレゼントをします。
- 西成あそびパーク主催のイベントに協賛し参加します。
- 西成警察署と連携し地域防犯活動やクリーンキャンペーンに参加します。

⑨苦情処理

- 第三者委員2名の設置をし、苦情解決の責任者を園長、苦情受け付け担当者を育児相談員とします。苦情解決システムについては園のガイドブックやポスターの張り出し、入園説明会で保護者に周知します。
- 「ご意見箱」を2箇所設置し、保護者からの意見の集約をします。
寄せられた意見について、全職員に周知し速やかに改善計画を立て再発防止に努めます。また、概ね24時間で回答書を貼り出し、協議中の事案については経過の報告をします。

⑩リスクマネジメント

- 危機管理委員会を発足し、危機管理マニュアルの整備を行い職員に周知します。
- 保健年間計画に基づき、看護師が中心となり感染症・SIDS対応・誤飲誤嚥・予防接種・食中毒・救急看護等の園内研修を行います。特にSIDS・溺水・吐瀉物の処理は役割を決めマニュアル通りシミュレーションして実際に備えます。
- 災害に備え備蓄品等防災備品の確保し、食料品にはアレルギー対応の食品も備蓄します。また、有効期限や保存状態の点検を行います。
- 月1回防災訓練を実施します。(火災・地震・津波・台風・消火訓練・通報訓練等)
- 救命救急の職員研修(年1回5月・西成消防署)また、総合災害訓練(火災・消火・地震)(年1

回1 1月・西成消防署)を行います。不審者対策訓練(年1回2月・西成警察署)を行います。

⑪その他

- 空調機の清掃(部品を外して)を行います。 1, 512, 000円
- 防犯カメラの設置をします。 616, 626円
- ホームページの開設をします。 製作費 518, 400円
間管理費 108, 000円